

2022年5月1日

第8回食糧支援プロジェクトに向けて

北海学園大学では2020年12月から食糧配付をスタートし、今年2月まで合計7回の支援を行ってきました。

新型コロナウイルス感染症の拡大のもと、アルバイトが急にストップした、また家族の収入が減少したなどの理由で生活困窮に直面した学生たちへ少しでも支援しようという願いから始めた取り組みです。

食糧支援のためには、教職員や北海学園大学同窓会、学内外の関係者などから多くの寄付や物資の提供によって実現しています。

また、開催日までは、食糧の搬入作業や会場づくり、申込みサイトの作成や申込み者のリスト化といった準備が必要です。

当日は、会場設営や受付、配付や相談、会場の片づけなど学生自治会を始めとする多くの学生たちが協力しています。

食糧を受け取る学生の皆さんは、次のことを知ってもらいたいと思います。

この食糧支援は、皆さんからの学費の見返りとして商品としての食料品を提供している訳ではありません。

皆さんは、食料を受け取る消費者ではありません。北海学園大学に所属し、大学を運営するメンバーの一人として食糧支援にも臨んでください。

運営にあっている学生たちも対価があって行っているわけではありません。これまで支援を受けた中からは運営側に回った学生たちがいることも良く知ってもらいたいと思います。

支援を受けた皆さんは、それを誰に返しますか？

ご飯をいっぱい食べても良いのですが、皆さんの家族や友人と一緒に構いません。周囲に生活に困っているような人に食糧を渡しても構いません。

申込み時にどういった思いで参加するのか、受け取った後でどういう形で社会に還元するのか、そこを教えてください。食糧を提供してくれたメーカーさんに、料理した写真や文章を送るのでも構いません。

何らかの形を残すことを考えて申し込んでほしいと思います。

受け取ったあとで、何かを残す。皆さんの後輩たちへも何かを残してほしいと願っています。

北海学園生協理事長 佐藤 信（経済学部教員）